

平成28年度高校向け「文系チャレンジ講座」(目的 高校生に学問を学ぶ楽しさを伝えることで、進路選択の道しるべとする)

対象学年 主として2年生(学校によっては他学年が混じることもある)

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講義概要(250字程度)
1	4/27(水) 16:30-17:30 経済学部203号	経済学部 包 聯群	漢字の歴史及び漢字文化圏について	本講義では、漢字の歴史及び漢字文化圏について紹介する。漢字は、世界で歴史がもっとも長く、広範囲で使用され、使用者も多い文字のひとつである。漢字の誕生と応用は中華文化の発展を推し進めただけでなく、世界文化の発展にも深い影響を与えた。今から、約6000年前のものである半坡遺跡で50種あまりの符号が発見され、「これは漢字の萌芽である可能性が高い」と言われている。本講義では、漢字文化圏の現状に言及する一方、その歴史背景などについても取り上げる予定である。
2	6/15(水) 16:30-17:30 経済学部203号	福祉健康科学部 溝口 剛	心理学への招待	心理学は、人間についての経験と行動の科学であるといわれます。人間の社会生活や生涯のさまざまな場面で生じる個人的・対人的・社会的な問題について、人間の基本的な心理や行動のプロセスを、実験、調査、面接といった実証的方法を用いて明らかにし、日常生活や問題の改善を探究します。また、個々の人間性の成長や発達に、心理学的な技法を通じて寄与します。その守備範囲は大変広く、認知、学習、発達、社会、教育、病理、障害等々多岐にわたります。今回は心理学の守備範囲を概観し、心の世界の不思議に迫ります。
3	6/29(水) 16:30-17:30 経済学部203号	経済学部 松岡 輝美	シェアリング・エコノミー (所有から共有へ)	シェアリング(共有)・エコノミーには、世の中にあるモノや人といったリソースの稼働率を上げることで、社会全体の生産力を上げるという効果が期待される。インターネットやスマートフォンの普及と共にこうしたシェアリング・エコノミーの経済規模が2016年には10兆円を超えるという試算もある。シェアリング・エコノミーの流れを促進する背景や、それが既存の産業や社会に与える影響、そして、私たちの社会が直面する問題について具体的な事例をあげながら説明していく。

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講義概要（250 字程度）
4	8/31（水） 16:30-17:30 経済学部 203 号	教育学部 田中 修二	アートと環境	地球温暖化や大気汚染、公害といった自然環境に関わる問題、過疎化や少子高齢化などの社会環境における課題は、いずれも今日の私たちがつねに考えていかなければならない大切なテーマです。アートの世界でもそれらは重要な関心事の一つであり、様々な取り組みが行なわれています。この授業では、人びとが「環境」という問題を意識するようになった歴史を振り返りつつ、そこにアートがどのように関わるかを紹介します。環境に関心のある人、アートに興味のある人、どちらもが新しい視点からそれらについて考える機会になればと思います。
5	9/28（水） 16:30-17:30 経済学部 203 号	経済学部 大井 尚司	地域を支える 「交通」と「く らし」「経済」 の関係を考える	日々の通学、買い物、旅行、モノの輸送など、「交通」は身近な地域での「くらし」や「経済」活動にはなくてはならないものです。「交通」が「くらし」や「経済」にどのように関わっているのかを、九州内の話題も交えながらお話しします。あわせて、経済学と経営学・商学・法学のそれぞれがどのように違うものなのかもお話しします。
6	10/26（水） 16:30-17:30 経済学部 203 号	経済学部 柴田 茂紀	Tシャツから 考えるグロー バル化	最近、いろいろなところで「グローバル化」という言葉を聞きます。では、グローバル化って何でしょう？それがこの講義のテーマです。一見、難しそうな言葉に見えるかもしれませんが、身近な例で考えるとイメージしやすくなります。今回は、T シャツという身近な商品を取り上げながら、グローバル化の事例を学びます。興味があれば、参考図書として、ピエトラ・リボリ著『あなたのTシャツはどこから来たのか？』（雨宮・今井訳、東洋経済新報社、2007 年）を読んでおいて下さい。世界の意外なつながりに気づくでしょう。

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講義概要（250 字程度）
7	1/25（水） 16:30-17:30 経済学部 203 号	福祉健康科学部 川村 岳人	「居場所」から社会福祉を考えよう	社会福祉が扱う問題は、現実の社会のなかで発生しています。いいかえれば、社会の変化にあわせて社会福祉の活動もまた姿を変えてきたのです。 近年、「無縁社会」という言葉に象徴されるように、社会のなかで「居場所」を失う人が増えてきていると指摘されていますが、こうした社会的孤立の問題に取り組むことも、社会福祉の大切な課題の一つです。 あなたはこれまでに家庭や学校で「居場所」がないと感じたことはありますか。人はどういうきっかけで「居場所」を失ってしまうのでしょうか。そうした人たちを支援するためにはどのような取り組みが求められているのでしょうか。 こうした問いの答えを探りながら、社会福祉の活動に対する理解を深めていきましょう。
8	2/15（水） 16:30-17:30 経済学部 203 号	経済学部 木村 雄一	西アフリカ女性の零細ビジネス・農業での換金作物導入と所得向上	西アフリカ・ガーナへの学生訪問、フィールドワークから得られた知見を紹介する。1. アフリカ女性の零細ビジネスとして代表的な、個人経営のヘアサロンと市場（いちば）の零細商店と、2. 農民の換金作物導入（グローバル起業進出に伴う農民のパイナップル栽培導入、プランテーション起業進出と農民のゴム・オイルパーム栽培導入）、のふたつの例をもとに、低所得層の雇用創出・所得向上に関連するトピックを紹介する（予定）。また、2. 農業関連でホットトピックのひとつとなっている「伝統的農村における女性の経済的地位向上と商品作物導入の影響」について、実証ミクロ開発経済学での研究上の取り扱いを紹介する。